

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 北越工業 株式会社
 コード番号 6364 URL <http://www.airman.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 吉岡 謙一
 (氏名) 肥田 格

TEL (0256) 93-5571

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	10,399	40.3	201	—	194	—	111	—
22年3月期第2四半期	7,411	△57.4	△361	—	△297	—	△276	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	3.77	—
22年3月期第2四半期	△9.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	18,938	10,168	53.3	343.27
22年3月期	19,872	10,236	51.2	343.18

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 10,090百万円 22年3月期 10,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,800	19.1	350	—	300	199.1	180	169.8	6.08

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]3ページ「2 その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 30,165,418株 22年3月期 30,165,418株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 770,437株 22年3月期 539,899株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 29,592,201株 22年3月期2Q 30,018,254株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき算定しております。実際の業績は今後様々な要因により記載の予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	2
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2	その他の情報	3
(1)	重要な子会社の異動の概要	3
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3)	会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3	四半期連結財務諸表	4
(1)	四半期連結貸借対照表	4
(2)	四半期連結損益計算書	6
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4)	継続企業の前提に関する注記	8
(5)	セグメント情報	8
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかながらも需要の回復が進み、輸出及び生産の増加により景気に持ち直しの動きがみられるものの、雇用環境及び個人所得の改善は緩慢で、為替の急激な円高に伴う国内市場の減速などによる先行き不透明感もあり、厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループはお客様のニーズを取り込んだ製品の開発を進め、オイルフェンス一体型発電機及び省エネスクリュコンプレッサ「PROAIRシリーズ」のシリーズ化並びに販売強化及び新たな取引国の開拓に継続して取り組むとともに、生産体制の見直しや経費の圧縮等による収益改善に努めてまいりました。

その結果、売上高は国内が6,370百万円、海外が4,029百万円となり、全体では10,399百万円（前年同期比40.3%増）となりました。

損益につきましては、売上高の増加と経費削減の継続的な取り組みにより、営業利益は201百万円（前年同期は営業損失361百万円）、経常利益は194百万円（前年同期は経常損失297百万円）、四半期純利益は111百万円（前年同期は四半期純損失276百万円）となりました。

セグメント別の状況につきましては、次のとおりであります。

① 建設機械事業

建設機械事業では、中国を始めとするアジア諸国の需要をけん引役としてポータブルコンプレッサの出荷が増加し、国内ではオイルフェンス一体型発電機の出荷が堅調に推移した結果、売上高は8,459百万円となりました。

② 産業機械事業

産業機械事業では、工場設備用コンプレッサの屋外設置や省エネのニーズを取り込んで、売上高は1,939百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

① 流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末に比べ801百万円減少し、12,821百万円となりました。これは主に、「3 四半期連結財務諸表、(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書」に記載のとおり現金及び預金が増加したこと及び回収期間の短い海外売上が増加したことにより受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

② 固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産残高は、前連結会計年度末に比べ133百万円減少し、6,116百万円となりました。これは主に、減価償却により有形固定資産が減少したこと及び時価の下落により投資有価証券が減少したことによるものであります。

③ 流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債残高は、前連結会計年度末に比べ833百万円減少し、6,113百万円となりました。これは主に、借入金の返済により短期借入金が増加したことによるものであります。

④ 固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債残高は、前連結会計年度末に比べ33百万円減少し、2,656百万円となりました。これは主に、役員の退任により役員退職慰労引当金が減少したことによるものであります。

⑤ 純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は、前連結会計年度末に比べ68百万円減少し、10,168百万円となりました。これは主に、為替の円高により為替換算調整勘定が減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ180百万円増加し、3,391百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,406百万円の収入超過となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益、減価償却費及び売上債権の減少等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、78百万円の支出超過となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出及び無形固定資産の取得による支出等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、1,088百万円の支出超過となりました。これは主に、短期借入れによる収入、短期借入金の返済による支出及び長期借入金の返済による支出等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績は、為替の急激な円高による国内市場の減速要因もあり、現在のところ平成22年5月14日に発表いたしました業績予想から変更はありません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2 その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,391,654	3,211,484
受取手形及び売掛金	6,286,206	7,208,584
商品及び製品	2,176,382	2,292,138
仕掛品	159,095	145,611
原材料及び貯蔵品	412,122	414,975
繰延税金資産	172,572	130,044
その他	227,514	221,954
貸倒引当金	△4,239	△2,166
流動資産合計	12,821,309	13,622,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,255,634	4,242,641
減価償却累計額	△3,373,831	△3,334,648
建物及び構築物(純額)	881,802	907,993
機械装置及び運搬具	5,741,701	5,742,859
減価償却累計額	△4,806,717	△4,762,604
機械装置及び運搬具(純額)	934,984	980,255
土地	1,614,352	1,614,352
建設仮勘定	4,434	9,821
その他	1,048,183	1,011,326
減価償却累計額	△974,555	△953,681
その他(純額)	73,627	57,645
有形固定資産合計	3,509,201	3,570,067
無形固定資産	282,073	313,861
投資その他の資産		
投資有価証券	1,390,268	1,459,712
繰延税金資産	685,710	660,881
その他	299,235	287,764
貸倒引当金	△49,693	△42,008
投資その他の資産合計	2,325,521	2,366,349
固定資産合計	6,116,797	6,250,278
資産合計	18,938,106	19,872,904

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,541,319	4,644,544
短期借入金	511,702	1,399,992
1年内償還予定の社債	—	60,000
未払法人税等	114,683	55,091
賞与引当金	308,085	222,940
その他	637,924	564,568
流動負債合計	6,113,715	6,947,135
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	50,000	101,706
退職給付引当金	1,714,446	1,638,088
役員退職慰労引当金	161,454	219,389
P C B対策引当金	125,000	125,000
負ののれん	9,076	10,473
その他	96,277	94,941
固定負債合計	2,656,255	2,689,599
負債合計	8,769,971	9,636,735
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,416,544	3,416,544
資本剰余金	3,394,894	3,394,894
利益剰余金	3,514,110	3,461,884
自己株式	△116,628	△87,110
株主資本合計	10,208,920	10,186,213
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	14,647	53,728
為替換算調整勘定	△133,147	△73,201
評価・換算差額等合計	△118,500	△19,473
少数株主持分	77,715	69,429
純資産合計	10,168,135	10,236,169
負債純資産合計	18,938,106	19,872,904

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	7,411,970	10,399,308
売上原価	6,000,656	8,375,401
売上総利益	1,411,314	2,023,906
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	159,400	204,052
貸倒引当金繰入額	—	2,946
役員報酬及び給料手当	633,813	654,971
賞与引当金繰入額	144,019	128,971
退職給付引当金繰入額	62,215	65,414
役員退職慰労引当金繰入額	14,571	15,197
その他	758,454	751,194
販売費及び一般管理費合計	1,772,474	1,822,748
営業利益又は営業損失(△)	△361,160	201,157
営業外収益		
受取利息	1,916	794
受取配当金	14,969	15,552
為替差益	7,205	—
助成金収入	59,406	25,069
その他	27,920	10,391
営業外収益合計	111,417	51,808
営業外費用		
支払利息	18,161	13,520
社債発行費	7,045	—
為替差損	—	36,753
その他	22,436	8,527
営業外費用合計	47,643	58,801
経常利益又は経常損失(△)	△297,386	194,164
特別利益		
固定資産処分益	1	1
貸倒引当金戻入額	1,075	—
賞与引当金戻入額	72,449	—
特別利益合計	73,526	1
特別損失		
固定資産処分損	522	1,428
投資有価証券売却損	2,054	—
投資有価証券評価損	—	3,891
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	1,286
貸倒引当金繰入額	—	6,847
特別損失合計	2,577	13,454
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△226,437	180,711
法人税、住民税及び事業税	48,956	101,776
法人税等調整額	9,593	△40,828
法人税等合計	58,549	60,948
少数株主損益調整前四半期純利益	—	119,763
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△8,640	8,286
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△276,346	111,477

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△226,437	180,711
減価償却費	195,451	201,872
退職給付引当金の増減額(△は減少)	26,478	76,358
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,063	9,757
受取利息及び受取配当金	△16,885	△16,347
支払利息	18,161	13,520
投資有価証券売却損益(△は益)	2,054	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3,891
有形固定資産処分損益(△は益)	521	1,427
売上債権の増減額(△は増加)	1,505,786	922,378
たな卸資産の増減額(△は増加)	△57,317	105,125
仕入債務の増減額(△は減少)	△545,730	△79,553
未収消費税等の増減額(△は増加)	141,396	△9,315
未払消費税等の増減額(△は減少)	△16,118	7,746
その他	114,374	△55,229
小計	1,140,670	1,362,344
利息及び配当金の受取額	16,139	15,858
利息の支払額	△20,356	△13,209
法人税等の還付額	158,673	41,310
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,295,126	1,406,303
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△204,828	△68,939
有形固定資産の売却による収入	57	344
無形固定資産の取得による支出	△9,842	△10,000
投資有価証券の取得による支出	△355	△58
投資有価証券の売却による収入	3,000	—
貸付金の回収による収入	638	583
定期預金の預入による支出	△632	—
定期預金の払戻による収入	8,038	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△203,924	△78,070
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,700,000	1,570,000
短期借入金の返済による支出	△3,800,000	△2,370,000
長期借入金の返済による支出	△104,596	△139,996
社債の発行による収入	500,000	—
社債の償還による支出	△410,000	△60,000
自己株式の取得による支出	△804	△29,518
配当金の支払額	△210,968	△58,602
少数株主への配当金の支払額	△980	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,327,349	△1,088,116
現金及び現金同等物に係る換算差額	19,289	△59,946
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,216,858	180,170
現金及び現金同等物の期首残高	3,519,070	3,211,484
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,302,212	3,391,654

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、本社に製品・サービス別の事業本部を置き、各事業本部は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、事業本部を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「建設機械事業」及び「産業機械事業」の2つを報告セグメントとしております。

「建設機械事業」は、ポータブルコンプレッサ、ディーゼル発電機及び高所作業車等を生産しております。「産業機械事業」は、ステーションナリーコンプレッサ等を生産しております。

② 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

	建設機械事業(千円)	産業機械事業(千円)	合計(千円)
売上高			
外部顧客への売上高	8,459,777	1,939,530	10,399,308
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	8,459,777	1,939,530	10,399,308
セグメント利益	481,153	94,491	575,644

③ 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(千円)
報告セグメント計	575,644
全社費用(注)	△374,486
四半期連結損益計算書の営業利益	201,157

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。